

## 開かれた学校づくりをめざして

### I 研究の内容

#### 1 研究の方法

##### (1) 研究の柱

- ・学校と地域・保護者との関わり方・連携の方策について
- ・学校・子どもたちが地域の人々や保護者とのつながりを生み出す実践
- ・研究の成果の共有（情報の発信も視野に入れながら）

(2) 各部員が、各校の実践（子どもたちの変容の様子、問題点、悩み等）を報告し、それについて情報交換・協議し、研究を深める。夏季学習会では講師を招き理論研究を行う。常任講師の先生方に、常時ご助言・ご指導をいただく。

(3) 保護者・地域との連携について授業実践を通して研究を深める。

#### 2 実践発表と授業研究

(1) 玉宮小学校「地域学習活動実践カード」「地域教材関連表」の実践発表  
・米作りに関わる地域人材の活用について

(2) 八幡小学校「保護者地域住民を巻き込んだでの取り組み」の実践発表  
・有価物回収・図書ボランティア・セーフティパトロール隊 など

(3) 牧丘第一小学校「保護者・地域住民と連携した取り組み」の実践発表  
・総合的な学習 児童会中心の取り組み（葉ボタン栽培、こどもまつり） など

(4) 三富小学校「保護者・地域住民を巻き込んだでの取り組み」の実践発表  
・太鼓・スナッグゴルフへの取り組み など

(5) 祝小学校「地域の特色を生かした総合的な学習」の実践発表  
・ぶどうづくり・ワインを通して・ふるさと勝沼の歴史と文化 など

(6) 岩手小学校「保護者・地域住民との交流・連携」の実践発表  
・世代間ふれあい活動・農業体験・太鼓 など

(7) 勝沼小学校「保護者・地域と連携した取り組みについて」の実践発表  
・保育園との連携 ぶどう農家、共選所、ワイン工場の見学 など

(8) 神金小学校「保護者・地域と連携した取り組み」の実践発表  
・学校林自然学習会・サンリバー訪問

(9) 東雲小学校「地域住民・保護者と連携した活動」の実践発表  
・農業体験・寺子屋・スルーネットピンポン体験活動 など

(10) 日下部小学校「地域と連携した安心・安全な街づくりに向けた取り組み」の  
・標語募集と看板設置 実践発表

(11) 山梨小学校「地域住民と連携した活動」の実践報告

・生活科、昔の遊びを地域住民から教えてもらう活動 など

(12) 夏季学習会・・・授業案検討

「地域素材についての学習会」

(13) 授業研究 第5学年 総合的な学習の時間「山梨の大雪災害から学ぶ」

～井尻地区の食料について考えよう～

中村 直人先生（井尻小学校）

ねらい・・・大雪災害時の食料不足の体験をもとに調べ学習を行い、地域における食料流通の現状や問題について理解し、災害時の食料問題に対応する方法について考え、地域に向けて発信する。

授業の流れ・地域の方に話を聞き、大雪災害時の店の様子や販売する側の苦勞、工夫や思いについて知る。地域の方との交流を通して、大雪災害時の食料流通について意見を交流し考えを深める。

児童の様子・児童の探求意欲は高く、ゲストティーチャーの話を真剣に聞きメモを取ったり、前時までの学習を生かした質問をしたりする様子が見られた。

## II 成果と課題

### 1 成果として

- 各校での保護者・地域との連携について実践発表と協議を行う中で、様々な連携の在り方について学べただけでなく、その中で出された成果、課題について理解を深めることができた。自校の実践に結びつけたり生かしたりすることへとつながった。
- 保護者・地域人材・地域教材を効果的に活用した授業研究を実施することができた。授業案検討、当日の研究授業と、参加者全員による共同研究として取り組むことができ、大変意義のある授業研究となった。
- 研究授業を通して、保護者や地域住民との連携によって、授業内容の深まりや広がり、子どもたちの興味・関心が高まることが感じられた。そのためには、地域を知り、保護者や地域住民とのつながりをより深めることが重要であると感じた。

### 2 課題として

- 学校と地域とのつながりは、それぞれの学校によって異なっている。自分の学校について振り返り、連携の在り方を考えていくことが求められる。
- 子どもたちが学んだことを、地域の方・保護者の方にも発信し学校での教育活動を広く知ってもらうことで、児童自身が地域とより強いつながりをもつことになる。また、地域や保護者と連携した教育活動をスムーズに進め、「学校を開く」ことにつながっていく。

## III 成果物

- 学習指導案・学習ワークシート
- 各校の実践レポート

（部長 那須 美佳）